



R 8

回覧

つむぎ合い

2026. 10. 6

永明小学校だより

No. 6

(文責：松倉)



雨や曇りの日が多かった9月でした。そんな中、学校では様々な授業や行事が行われました。見たり聴いたり触れたり感じたり。頭と心をたくさん働かせて、一人ひとりが学びを深めました。

9月の学校の様子を紹介します。

<9/2 小中合同避難訓練>



今回は午後、そして、社会体育館へ避難しました。災害から命を守る訓練に真剣に取り組む姿が見られました。

<1年 図工 コロコロペタン>



スポンジやネット、丸や四角。好きな道具に好きな色をつけ、コロコロペタペタ。ダイナミックに楽しみました。

<学校 中庭の花壇>



園芸委員会と担当職員の地道な整備のおかげで、彩がとても素敵な夏の花壇になりました。

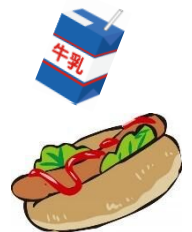
<4年 坂本養川 せぎ見学>



学級ごとに乙女滝やせぎを見学に出かけました。坂本養川の業績を学び、水があることの有難さを感じました。

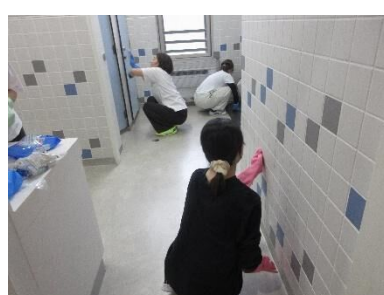


<9/10 交流給食>



福祉交流委員会が計画しました。姉妹学級で一緒に給食を食べたい、という子どもたちの願いを受け、給食の先生が持ち運びやすい献立を考えてくださり、姉妹学級との交流給食が実現しました。みんなで楽しくおいしくいただきました。

<9/12 秋のPTA作業>



外は雨も降る中、早朝より学校環境の整備にご協力いただき、ありがとうございます。児童の日々の清掃や学校職員だけでは行き届かない場所を丁寧に作業していただきました。新しい校舎がこの先も長くきれいであるように、大切に使用させていただく気持ちをもっていききたいと思います。

< 3年諏訪めぐり >

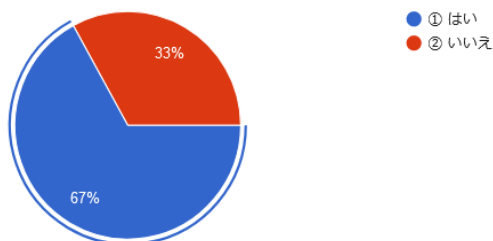


午前中はJ A原村営農センターと諏訪大社上社を見学。その後、諏訪湖に移動し足湯付近でお弁当を食べ、午後は岡谷蚕糸博物館で見学と繭工作を行いました。係活動や事前学習などたくさん準備を重ねた成果が発揮され、整列することやメモをとること、協力してレクを楽しむことなど、様々な面で大きな成長が見られました。

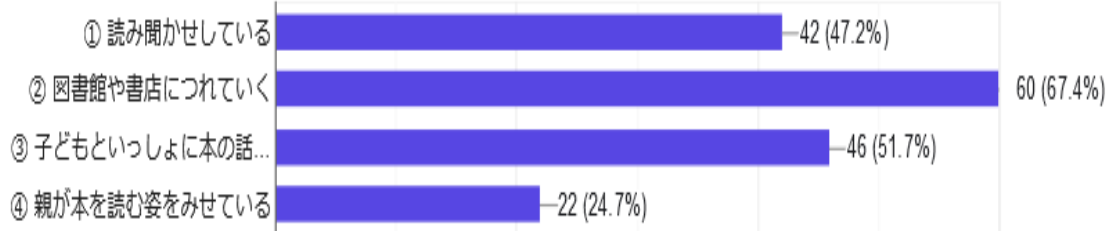
第1回（7月）家庭読書の日（週間） アンケート結果から

学校運営協議会：家庭教育支援部会の取り組みとして、夏休み前に実施しましたアンケート結果の一部を紹介いたします。「家庭読書の日」は毎月1日ですが、今回はその日をもとに家庭読書週間として位置づけご回答いただきました。

この一週間にご家庭(子どもと大人)で読書の機会がもてましたか？ 回答103件



子どもが本を読むように工夫されていることはありますか？(複数回答可) 回答89件

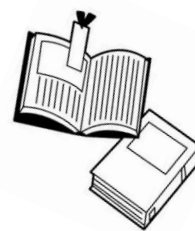


一緒に読書した感想(自由記述) 一部抜粋

- ・昔読んだ絵本を読んで懐かしかった。それぞれが好きな本を読む時間があって良いと思う。
- ・低学年の頃は絵本ばかりだったのに、字の方が多い物語になっていき、姉妹でこの話はここが好き、このキャラクターがいい、など話し合っています。
- ・同じ物語を読むことで、「面白い」を共有できて、いい親子時間になっています。
- ・久しぶりに夜寝る前の読み聞かせをしました。子どもたちが夢中で聞いてくれ、ゆっくりと同じ時間を共有できて親としても嬉しかったです。

- ・寝る前によく読み聞かせをしています。今回は家庭読書のお知らせもあり息子が本を2冊選んで、私と息子それぞれで読み聞かせしました。赤ちゃんのころに読んでいた本で簡単ではありましたが、息子が読むと感慨深いものがありました。
- ・だいぶスラスラと文字が読めるようになった等、子の成長を感じることができる。最近、一緒に図書館に本を借りにいく機会が増え、我が子の好きな種類の本(興味あること)に気付くことができた。
- ・普段自発的には読まないのですが、週間と言う事で機会が持ててよかった。
- ・私自身本を読む習慣がないのですが、子どもと図書館へ行く機会が増え、子どもの興味ある本を知れて一緒に楽しむことができたので良かったです。
- ・嬉しい気持ちになり、親子の貴重な時間の一つだと思います。子供が思う感想と、大人が思う感想を言い合えたりして楽しいです。親が知らなかった事で、絵本で学ぶことも多々あります。
- ・小学校に入りだいぶ自ら選書する力が増えたようで、さまざまなジャンルの本に興味を持っています。その為読み聞かせする立場も楽しく本を読むことができ、良い機会です。
- ・日々お互いに忙しく、読み聞かせや望まれることが減る中で、お互い思い出し方のように、ふと一緒に本を読むと、やはりすごく穏やかな時間が流れ、いつもはデジタルの中で使われるような流行りの言葉などが溢れる中で、あたたかな言葉や言葉づかいで関わることができると感じます。本当なら昔のように毎晩そんな時間を持てることが理想ですが、なかなか現実的に難しいので、そんな時間ができた時にはお互いに大切にできたらと思います。
- ・なかなかタイミングが合わず、一緒にの時間に読書ができませんでした。寝る前にはその日に読んだ本の感想を言い合えたのが楽しい良い時間になりました。

アンケートへご回答いただいた皆様、ご協力ありがとうございました。一緒に読んだり読んだ本の感想を伝え合ったりして、会話が弾んだご家庭。お子さんからがうちの方への読み聞かせや選書の様子からお子さんの成長を感じたご家庭。家庭読書の日・週間に合わせて、各ご家庭で素敵な時間が持たれた様子が分かりました。「読書」は茅野市でも学校でもずっと大切にしている取り組みであり時間です。忙しい日々ではありますが、大人も子どもも「読書」を楽しみ、ホッとでき、また、心が豊かになる時間を持てたら良いですね。



<お知らせ>

本日、長野県、文部科学省から出されました「カスタマーハラスメント」に係る文書を配布しました。

これは、学校と保護者や地域の皆様とのより良い関係を構築し、児童生徒一人一人の健やかな成長を支えることを目指した取組の一つとして示されたものです。令和8年10月1日より、厚生労働省の指針を踏まえて、カスタマーハラスメントの防止措置が学校設置者の義務となったことでの配付です。

本校は、保護者や地域の皆様の声をこれまでも大切に受け止め、学校運営に生かしてきました。今回、こうした文書を配付しますが、本校としましては、これまで以上に学校を開き、保護者や地域の皆様の相談等を丁寧に聞いていきたいと考えています。保護者や地域の皆様には、子どものことで心配なこと等ありましたら、躊躇なく学校へ相談していただきたいと思います。同様に「こども課 育ちあいちの」もご活用ください。

ご理解のほどよろしくお願い致します。